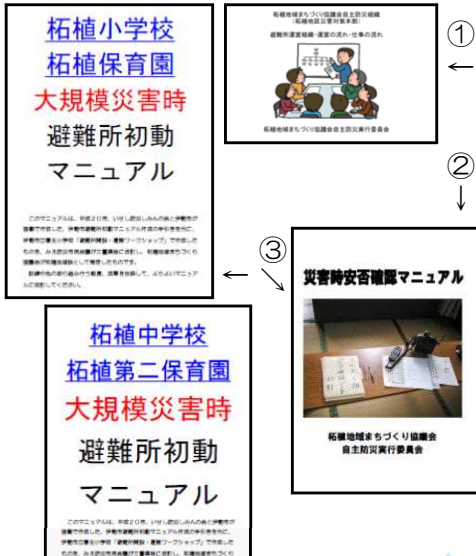




どの避難所でも活用できるように  
マニュアルの改訂を  
2019年3月を目標に

2月18日(日)夜、市民センターで第2回初動リーダー会議が開催され、マニュアル改訂に向けた研修を行いました。  
現在、柘植地域の防災マニュアルとしては、次の3類があります。

- ① 運営の流れ・仕事の流れ
- ② 災害時安否確認マニュアル
- ③ 避難所初動マニュアル



今回これらを①防災・減災対策マニュアル、②災害時安否確認マニュアル、③大規模災害時避難所運営共通マニュアルとして平成31年3月頃、改訂する予定です。

いざという時の動き出し(初動)を地域のかで...

会議冒頭、服部文昭事務局長ならびに、松山宗達次長から趣旨説明と「使う側の立場でこのマニュアルを真剣に検討し、意見を述べて下さい」とのメッセージがあった後、運営本部・総務・受入・管理・救護の5つのグループに分かれ、話し合いました。

その結果として、各グループから「初動リーダーが集合出来なかった時、誰が代わりに出るのか?」、「部屋の使用区分を決定するために一人当たりのスペースを知りたい」、「防災資材が何処にどれだけあるのか判らない、避難所の近傍に防災資材を保管する倉庫が必要」、「見が建設的な意見が発表されませんでした。」  
今回の検討内容も考慮して初動期における自主防災要領を見直し、直したいと思えます。

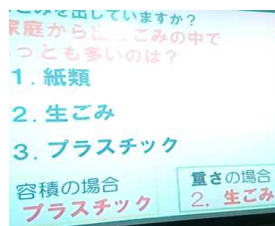


食品ロスを減らして  
ごみ減量・リサイクル

女性部会

女性部会13名は、2月3日(土)午前、伊賀市治田にあるさくらリサイクルセンターでの環境セミナー(伊賀市環境保全市民会議主催)に参加しました。

食品ロスの現状について環境学習推進員の脇谷奈美さん(三重県環境学習情報センター)に、県内の実情などを説明していただいた後、4〜5人のグループ別に「最近何を捨てたか」「なぜ捨てたか」そして「食品を捨てないためにどうするべきか」について話し合いました。



「特売日だから」といって買い過ぎてしまったら、冷蔵庫や食料庫の奥に入り込んでいて忘れてしまったりすることもあるのではないのでしょうか。  
月に一度は冷蔵庫や保管庫の棚卸しをして、献立を考えたもので、食品を捨てるという事はもったいないし、申し訳ない気持ちにもなります。

# 投扇興やおでんで国際交流

国際交流実行委員会

1月21日(日)、柘植地域に在住の外国の方々を市民センターにお招きして恒例の国際交流イベントを開催しました。

地元の方々と約50名の住民らとあけぼの学園高校の先生と生徒さんに参加してゲームやライブ演奏、おでんの日本食や防災食の話を聞いて交流を深めました。ゲームで楽しかったです。



外国の方々も日本独特の浴衣や日本食、古来の投扇興というゲームを体験出来て少しは日本のことを知ってもらえる良い機会になったことと思います。伊賀市内には現在4700名弱の外

国の方々に住んでおられます。(柘植地域には約50名が行政に登録されています。)

今後とも外国の方々がお住まいになることも増えることと思えますが、外国の方々から孤立しないよう交流の機会を持つことは地域発展にもつながる重要なことと受け止めていきます。今回の交流をきっかけにこれからも交流を深めていきたいものです。



## なたね圃場の「試験栽培」成功をめざして!

生活環境部会

2月26日(月)午後、農林振興課や大山田農林業公社のみなさんと試験圃場の現地調査を行いました。昨秋の種蒔き以後、台風等の湿害と冬季の寒さなどが影響して根の生育が滞り、か



なりの面積が黄色化したりするなど、肥料(硫安)散布の効果が出ない心配な状況となっています。ただ、春になれば花が咲くのは大丈夫なようですので、経過を見ていくことにしました。湿害に対しては、明渠(雨水を流すためのみぞ)をしっかりつくるのが大切であり、今後の参考にしなければならぬと思います。



## 養老町から視察団

2月25日(日)午前、岐阜県養老町広幡地域町民会議のみなさん約30名がお越しになり、伊賀市の住民自治のしくみや柘植地域まちづくり協議会が誕生したいきさつ、防災の取り組みや福祉の取り組みの実際について当方の説明をもとに研修されました。養老町では私たちのような住民自治組織がやっと立ち上がったところだそう、平成16年当時の『まちづくり計画』策定のプロセスなど、興味深



第6回手作り雛人形展に向けて

女性部会

3月が近づき、柘植地区内の店舗等に今年もひな人形を飾ってまいります。

写真は2月22日に、お雛様を柘植小学校玄関に飾ってもらいにかがった時の様子です。

展示は3月4日(日)までです。ぜひ柘植地区市民センターへお越しになり力作をご覧になってください。齋王なりきり体験(子どもも大人も)もあります。また3月3日(土)はお茶席(300円・先着順)を用意してお待ちしています。



写真は昨年度の様子です。(テーマ「齋王群行」)

今年度は「よろこび」がテーマ！ピョンチャンオリンピックでのよろこびもありますヨ！※詳しくは回覧文書等をご覧ください。

JR西日本から感謝状

柘植駅を核とする

公共交通のあり方検討委員会2月20日(火)午前、柘植駅にてJR西日本大阪支社長から感謝状を頂戴いたしました。



←握手を交わす 堀井信雄委員長 阪井則行顧問 半田三都生代表 川井正支社長 (左から)

先日の復旧再開セシモノーや日頃の美化活動への感謝というところが理由です。



感謝状(抄)

関西本線は台風二十一号の被害により平成二十九年十月二十二日から八十日間にはわたり運休となりました。…地域に活かされている企業として一層皆様と良好な関係を築いていくことをお誓い申し上げます。西日本旅客鉄道株式会社 川井正



また、柘植駅2番3番ホームの待合室にはこのたび冷暖房が設置されました。これまでに冬場は寒かったのですが、乗り換え利用者にとって快適な柘植駅が実現できました。

★★★事務局だより★★★

▼今年は寒い日が多く、農作物の生育にも影響が出ています。スーパリーの値札がそれを物語っています。またインフルエンザもまだ流行中。入試や卒業式を控えて、関係者のみなさんは気がでないことでしょう。手洗い・うがいを励行したいものです。▼年度末を迎え、各組織とも整理や決算、さらには来年度の組織づくりに忙しいことと思います。まち協も各事業について今年度の評価ならびに来年度に向けた事業計画づくりをお願いしています。▼話は変わって、先日、小田にあるオークワジョイシティ伊賀上野店へ行きました。「もうすぐ閉店か？」と思いつつ、売り場へ行くのと以前の賑わいはまったくありません。売り場スペースは縮小され閉店を待つのみ様子。▼売場の一角には模造紙が貼られ、ハート形の約10センチサイズの紙とともに、「これまでの感謝を込めて(店員スタッフへのメッセージをお願ひします)」と記されたメッセージコーナーがありました。「ポウリング・映画、そして買い物など私たちの市民の憩いの場所でした。この場所がなくなるのは残念ですが、これまでの記憶はなくなりません。ありがとう。」そんな内容を書き残して、店をあとにしました。(西田方計)